

2023年10月1日
第568号

(毎月1日発行)

咲いたネット

URL:

http://www.saitanet.or.jp

Eメール:

saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会

〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル

TEL 048-838-0771

FAX 048-838-0775

編集発行人

埼玉県労働組合連合会

【定価】1部50円

(組合員の購読料は組合費に含む)

議案を採択



『憲法』を生か

立ち向かい、
による改憲策動に
権と補完勢力に
阻む岸田自公政
針を確立するこ
と。要求実現を

実践すること。
すべての世代の
組合員の結集と
成長という目的
に対して、運動
を強化したこの
1年のたたかい
から教訓を導き
出し、新たな前
進を切り開く方

・埼労連を強化・発展させ、

でも要求に団結する労働組合
がらも、長引くコロナ禍の中
員の名と健康を第一に考えな
タイル」などの工夫で、組合
において、「新しい運動のス

し、誰もが8時間働けばまとも
もにこなせる社会の実現を目
指して、担い手となる仲間を
増やすことで未来を切り開く
1年にするための方針を確認
しあう場として位置づけまし
た。

また、長期化するコロナ禍
において、「新しい運動のス
タイル」などの工夫で、組合
員の名と健康を第一に考えな
がらも、長引くコロナ禍の中
でも要求に団結する労働組合
ました。

大会は、4年ぶりにコロナ
禍以前の1日開催に戻し、さ
いたま共済会館での現地参加
による開催で、役員定期選挙
も当日に現地で行うなど、日
常に戻す形での大会としまし
た。

大会には17単産・26地域組
織から代議員154人、幹事
会、特別代議員、来賓、傍聴
など全体で220人が参加し
ました。

(2面につづく)

9月16日(土)の9時30分
から、さいたま市浦和区高砂
ホールで埼労連第35回定期大
会を開催しました。

の活動参加と実践で11万埼労
連の展望を！」をスローガン
に掲げ、コロナ禍や物価高騰
における困難が国民生活に襲
いかかるもと、要求実現と組
織強化・拡大を、労働組合の
姿を見せる取り組みを通して
実践すること。

すべての世代の活動参加で11万埼労連の展望を 埼労連第35回定期大会



新島議長あいさつ



堀光副知事が参加

紙面から

■第35回定期大会

(1面~3面)

■各組織のとりくみ

(6面)

■最賃オンライン集会

(4面)

■2023自治体訪問

(7面)

■組織拡大のとりくみ

(5面)

■埼労共のページ

(8面)

第35回大会 (方針の概要)

埼労連第35回定期大会は、小澤副議長が開会の宣言、大会諸役員を選出を行い、その後の運営は大会議長団が行いました。

今大会は、久しぶりの1日開催ということで、来賓にも列席してもらい、あいさつを受けました。埼玉県からは、当初予定していた大野県知事に代わり、堀光副知事があいさつを行い、立憲民主党からも、県連代表の小宮山衆議院議員が初めて参加し、あいさつを

しました。また、6月の選挙で5期目の当選を果たした、蕨の頼高市長も駆け付け、連帯のあいさつをしてもりました。

総括と方針提案

宍戸事務局長が活動の経過と2023年度運動方針案、付属議案「秋のたたかについて」、方針の基調を中心に、諸井財政部長が2022年度の決算報告と2023年度財政方針および予算案をそれぞれ提案しました。

宍戸事務局長は、長引くコロナ禍と物価の高騰という厳しい状況の中でも、4つの重点課題と3つの



全労連 小畑議長あいさつ

の1年の到達と教訓を力に、新年度は、物価高騰に見合う賃上げを勝ちとるため、たたかう労働組合の出番となること、中期計画最終年度として、すべての取り組みを組織強化・拡大に結び付け、ジェンダー平等推進で女性の活動参加の広がりづくりを前進させる1年に、また、改憲策動に負けずに要求実現を目指す1年にと報告・提案しました。

新年度の運動の基調は3つで、第1に、第7期中期計画最終年度ふさわしい1年にするため、次世代層の結集・ジェンダー平等視点での運動への結集、最賃で働く当事者の組織化をすすめること、第2に、11万埼労連実現に向け、す



小宮山衆議院議員あいさつ



ジェンダー平等宣言

べての組織が4年前の現勢よりも組織を大きくすることとして、誰でもできる組織拡大を目指し、活動参加のハードルを下げ、担い手を広げていくこと、あらゆる取り組みを組織化につなげて、組織減少から増勢へ、要求運動を強めていくこと、第3に、賃金引上げ、最賃の底上げで格差と貧困の是正を実現するため、最賃闘争では、

当面する秋の闘いで、全国一律最賃を求める意見書を県内の多数の自治体で採択させ、格差のない、まともに暮らせる最低賃金に向けた法整備の実現、公務労働者の賃上げ闘争にも全体で取り組んでいくこと最低賃金引き上げとすべての労働者の賃上げを目指す「埼玉アクシオン」、自治体キャラバンとも結んだケア労働者の処遇改善の

取り組みで世論と運動の前進、そしてすべてのとりくみを組織強化・拡大につなげるため、「非正規の組織化」をすすめることを強調しました。

提案後に、議案に対する討論が行われ、文書発言も含めて14単産・8地域組織・1補助組織が討論に参加しました。討論では、この1年の組織強化の取り組みや23春闘闘争の取り組み、次世代対策の強化などが豊かに語られ、1年間の運動の教訓と到達への確信を深めるものとなりました。

討論終了後、幹事会総括答弁を受けて、議案の採択に移り、運動方針案、財政方針および予算案が賛成多数で採択されました。

各種承認案件、ジェンダー平等宣言と大会宣言の確認、大会入口ガンの採択、役員定期選挙を行いました。役員選挙で、新島善弘議長をはじめ新年度の役員が選出されました。

新年度役員を代表して、新島議長があいさつし、議長団及び所役員が解任され、最後に西口副議長の閉会あいさつ・新島議長の団結ガンバロウで閉会となりました。

第35回大会 (討論と新役員)

各組織の討論

大会での各加盟組織と補助組織の発言(文書発言3組織含む)の趣旨は以下の通りです。

蕨地区労協(組織強化の取り組みと市長選挙について)、郵政産業ユニオン(いつわりの格差是正に反対するとりくみ)、医労連

(22秋闘・23春闘の闘い)、埼玉土建(現場改善運動と憲法・平和・民主主義を守る闘い、組織建設)、三郷市労連(23春闘でのスト権行使で賃上げ獲得の経験)、JMITU(23春闘と新支部結成の取り組み)、埼玉県国公(23春闘、人事院勧告と非常勤職員の処遇改善)、全国一般(23春闘と組



医労連の発言



三郷市労連



電機・情報ユニオン

織強化)、自治労連(公務職場で働く労働者の処遇改善を求める自治体キャラバンの役割)、草加八潮地区労(地域組織の役割と労働相談)、年金者組合(ジェンダーギャップの解消と最低保障年金)、電機・情報ユニオン(リストラと無期雇用への転換めざす理研ネット



飯能日高地労連

のたかいと裁判支援)、埼高教(高校統廃合、特別支援学校の教室不足の課題と組織拡大)、蓮田地域労連(全国一律最賃をめざす議会への働きかけ)、狭山地区労(戦争展のとりくみと会計年度任用職員の雇止め阻止の闘い)、埼教組(組織強化・拡大と人権を守る社会づくり)、飯能日高地労連(次世代の仲間の結集)、女性部(ジェンダー平等の前進目指すとりくみ)、さいたま地区労(青年・次世代体格のとりくみ)、建交労(運輸業界の2024年問題)、SU(新支部結成と労働相談を通じた組織強化)、私教連(組織拡大と争議支援の闘い)。

新年度役員

今大会で、11人が退任され、新

しい体制が確認されました。選出された幹事会役員は以下の通りです。

- 【議長】1名
新島善弘(現)
- 【副議長】7名
占部修吾(現)、小澤道夫(現)、北村純一(現)、竹嶋順二(現)、西口哲之(現)、藤田省吾(現)、前島英男(現)
- 【事務局長】1名
宍戸出(現)
- 【事務局次長】2名
尾形佳宏(現)、諸井武志(現)
- 【幹事】29名
荒木雄山(新)、石井吉男(新)、泉田隆徳(現)、市川治彦(新)、岩月桃子(現)、上田



争議団紹介

- 秋江(現)、大河内一(現)、男女嶋聡(現)、加藤靖(現)、金田正富(新)、神山勝彦(現)、北村明子(新)、佐藤泉(新)、佐藤静子(新)、渋谷ひろみ(現)、白原滋(新)、瀬田裕司(現)、田中ふじ江(新)、新國孝久(新)、橋本志保(現)、舟橋初恵(現)、町田誠(現)、松本貢一(新)、三木誠一郎(現)、水野谷孝夫(現)、宮本まき子(現)、村山隆(現)、山崎秀弘(現)、吉野弘美(現)、龍尾由美子(新)
- 【会計監査】3名
門井昇(現)、河村斌(新)、渡邊文仙(新)



団結ガンバロウ

全国一律最賃の実現めざし オンライン学習決起集会

埼労連は8月28日(月)午後6時30分から7時45分まで、埼労連としては初の試みの完全オンライン会議で最賃学習決起集会を開催しました。

これは、この秋、全国一律最賃制を求める自治体の意見書採択を促進していくための意思統一集会で、8単産・17地域組織が単産や地域組織の事務所などに集まって合同で視聴し、25回線の参加がありました。

党の務台衆議院議員などを招いて行った最賃講演会のダイジェスト動画を視聴し、改めて私たちの主張が多くの立場の人から共感されていることを確認しました。

動画終了後は、小澤副議長(最賃・公契約適正化委員会責任者)から基調報告があり、この間の築いてきた運動の到達点と、明らかになってきた課題にふれながら、今こそ労働組合の出番であることが強調されました。

続いて具体的な行動提起を加藤幹事が報告。埼労連の地域経済活性化のための中小企業支援の提言などの資料説明を行い、この秋に地域で経済団体や地方議会の各党派と懇談をして全国一律最賃制の合意づくりをすすめる、各自治体で全会一致での意見書採択をめざすことを報告しました。

報告後は、比企労連から東松山市で全会一致の採択をかけた経験、蓮田地域労連からは今年に入ってから経済団体との懇談、日本共産党市議団との相談を経て、

完全オンラインで学習



最賃講演会を視聴

蓮田市議会議長と懇談をしてきた経験について報告がありました(蓮田地域労連では9月11日に最大会派とも懇談を実施済み)。

報告後は、AOI労連から「経済団体が2市1町にあり、どこから懇談するか」などの質問が出され、意見交換しました。

最後に宍戸事務局長がまとめの発言を行い、「全国一律最賃制確立の国会の動きは来年4月に本格的になる」こと、公契約条例の意見書採択を例に、最賃Aランクにある埼玉で自治体の過半数から意見書があがることは大きな世論をつくることになることなどに触れ、この秋に埼労連全体で奮闘しようと呼びかけました。

ボウリング大会と組織交流会を開催

蕨地区労

蕨地区労は、8月27日(日)午後2時から蕨市北町ラウンド1でボウリング交流会と懇親会を行い各組織の交流を図りました。

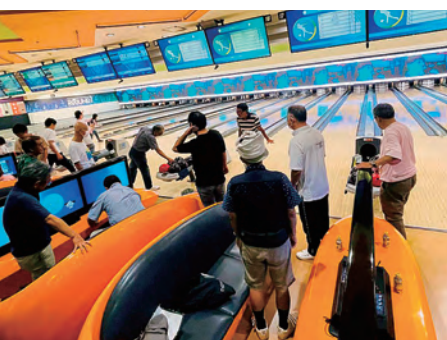
ボウリングは4組合12人が参加、7月にボウリング交流会を開催していた年金者組合から4人が参加。参加者全員が2ゲームを楽しみ、年金者組合ではボウリングを月1回のサークルにして交流できないかとの声もありました。



場所を移して交流会

終了後の埼玉土建蕨センターでの懇談会は、市職、市教組、土建、年金者組合に加えて建交労B SK支部がかけつけ、5組合17人が集まりました。

参加者や各組合の活動交流では、各組合のいいところ、この夏の楽しかったことを中心に盛り上がりました。年金者組合では、この間加入した女性たちに役員をお願いしたところ快諾してくれ、さらに未加入の友人に加入してもらおうなど、元気になる活動を交流できました。



ボウリング交流の様子

蕨地区労は6月現勢がマイナスだったので、9月の埼労連大会まで回復して、組織拡大を含めた秋のたたかい(憲法や最賃闘争)をこれから具体化していきます。

(蕨地区労発)

中央委員会で組織表彰 (埼高教)

埼高教は8月20日(日)に中央委員会を開催し、秋の取り組みを確認、組織拡大・強化でも具体的な活動が始まっています。

組織拡大では、8月は今までで話しきれなかった人への対話などをした結果、4人の拡大となりました。今年4月以降の拡大数99人と101人目を迎えた分会、100人目を迎えた分会と本人に豪華スイーツを中央委員会で贈呈しました。

9月からの秋の組織強化・拡大月間は200回のつどい合い、500名対話、50名以上の拡大を目標に取り組みます。



中央委員会でスイーツを贈呈



オンラインで決起集会

「事業所の事業主や従業員」の指標とも突破した「トリプルスタートダッシュ節」を突破したの秋の組織拡大月間に取り組みんでいます。

「集まる・集める」取り組みは、ボウリング(越谷、宮代、加須、さいたま北、川越、入間、飯能日高)、バスハイイク(地引網・久喜幸手、グリーン牧場・新座、小松沢レジャー牧場・所沢)、マス釣り&バーベキュー・川口、バーベキュー(朝志和、飯能日高、春日部、朝志和、所沢)など、多彩に取り組みれます。

(埼玉土建)

多くの仲間を集める工夫で全県が総決起 埼玉土建「秋の拡大月間」がスタート!

埼玉土建は2024年3月1日現勢での実増を果たすために、8月を準備月間、9月から10月までの秋の組織拡大月間に取り組みんでいます。

拡大の目標は組合3076人、青年部員299人、主婦の会1008人となりました。8月30日のスタートダッシュ節は組合15%、青年部30%、主婦40%の目標を立てて取り組み、結果、組合33支部、青年部27支部、主婦28支部がスタートダッシュ節を突破、3つ

9月1日には全県決起集会をWEBで開催、683人の仲間が参加しました。支部では活動者会議が31支部、出陣式も31支部で行われ、飲食ありの交流などもあり、元氣よく秋の拡大月間のスタートを切ることができました。



主婦の会も決意表明

の参加に目標を持ちながら、組合参加のすそ野を広げることを意識して取り組んでいます。

各支部が行っている特徴的な「集まる・集める」取り組みでは、ボウリング(越谷、宮代、加須、さいたま北、川越、入間、飯能日高)、バスハイイク(地引網・久喜幸手、グリーン牧場・新座、小松沢レジャー牧場・所沢)、マス釣り&バーベキュー・川口、バーベキュー(朝志和、飯能日高、春日部、朝志和、所沢)など、多彩に取り組みれます。

最賃引き上げとSU加入うったえ

鴻北労連

鴻北労連は8月18日(金)の夕方、北本駅前以最賃金の引き上げと全労連・埼玉ユニオン(SU)の加入を呼びかける宣伝行動を行い、17人が参加しました。

宣伝行動は鴻北労連が毎月取り組んでいるもので、「全国一律最賃制をつくり、時給1500円に引き上げる必要がある」と訴え、横断幕やプラスタ1を掲げて取り組みました。

「労働者の賃金は、8時間働いて普通に生活するために、時給にして1500

0円に引き上げる必要がある」と訴え、横断幕やプラスタ1を掲げて取り組みました。

「労働者の賃金は、8時間働いて普通に生活するために、時給にして1500



最賃引き上げとSU加入をうったえ宣伝

(鴻北労連発)

恒例の一日幹事会(人間東部労連)

人間東部労連は、9月2日(土)、毎年恒例で行っている「一日幹事会」を開催し、12人が参加しました。

午前中は埼玉社保協事務局長の段和志さんを講師に迎え「解散総選挙に向けた争点」をテーマに学習を行いました。マイナ問題や社会保障改悪、軍事費拡大など、今の政治の問題点について、歴史的背景にも触れながら丁寧な説明が

ありました。解散・総選挙に向け、憲法を守り生かすための取り組みを展開し、社会保障を守る運動を労働組合が先頭に立って行っていくことを強調されています。

参加者からは「疑問に思っていたことが解決した。今の政治の問題点をたくさん仲間へ伝えていかなければならない」と感想ががりました。

学習後、昼食をとり、午後からは通常の幹事会の内容と合わせて11月に予定している人間東部労連定期大会に向けた討議を行いました。今年度の活動を総括し、来年の方針については埼玉連大会議案を参考にしながら議論をすすめました。「顔が見える集まりは元気ができる」といった意見もあり、次年度も引き続き活動交流を行いながら運動をすすめていくことを確認しました。

学習後、昼食をとり、午後からは通常の幹事会の内容と合わせて11月に予定している人間東部労連定期大会に向けた討議を行いました。今年度の活動を総括し、来年の方針については埼玉連大会議案を参考にしながら議論をすすめました。「顔が見える集まりは元気ができる」といった意見もあり、次年度も引き続き活動交流を行いながら運動をすすめていくことを確認しました。

(人間東部労連発)

実りの秋めざし意見交流(自治労連)

自治労連埼玉県本部では9月10日(日)、正規・非正規・公共で実りの秋をめざす学習と意見交流集会を開催しました。

8月7日に2023年度の人事院勧告が示され、高卒初任給で1万2000円、大卒初任給で1万1000円の賃上げ、平均改定率では0.96%、再任用職員に及ぶ全世代の賃上げ目安が勧告されています。

こうした状況のもと、県内で本格的にすすむ生活改善運動を前に、正規も非正規も公共も、みんな「実りの秋」を迎えるための意思統一の場として今回の集会を開催しました。

集会では、午前中に正規・非正規・公共の秋のたたかひの方向性について提起をし、午後からは、正規・非正規・公共それぞれの課題に沿った3分散会を設定し、当事者同士で秋のたたかひへの意思統一と課題と実現へ向けた政策などへの理解を深めました。

(自治労連県本部発)

こうした状況のもと、県内で本格的にすすむ生活改善運動を前に、正規も非正規も公共も、みんな「実りの秋」を迎えるための意思統一の場として今回の集会を開催しました。

集会では、午前中に正規・非正規・公共の秋のたたかひの方向性について提起をし、午後からは、正規・非正規・公共それぞれの課題に沿った3分散会を設定し、当事者同士で秋のたたかひへの意思統一と課題と実現へ向けた政策などへの理解を深めました。

そのうえで、この秋どのように



2ヶ月で8人の仲間が加入(埼教組)

埼教組は、7月と8月の2カ月間で8人の仲間を迎えました。その多くは、今年3回目となる青年部教採学習会での加入です。

教員採用試験に向けての学習を通して、5人の新しい仲間が加わりました。ほかの3人はそれぞれ労金からの紹介、埼高教からの紹介、元組合員です。

労金から紹介された人は、担当者から組合員のメリットを聞いたそうです。単組の組合員との対話の末、加入を決意しました。

埼高教の組合員から紹介された人は、職場環境についてさまざま問題を感じていたそうです。人事異動についても希望があり、加

入を決意しました。

元組合員の人は、職場環境や管理職への問題を感じて一時は職を辞そうとも考えていたそうです。

脱退後も続いていた分会の組合員とのつながりから、今一度、組合員として活動しようと考え再加入を決意しました。

埼教組では、10月1日から11月30日を第2期加入促進月間に設定しています。対象者を挙げ、拡大の準備を進めます。また同期間には、全教共済・秋募集の間でもあり、共済拡大を通じて、組合拡大のすそ野を広げたいです。

(埼教組発)

記事の寄稿を

埼労連では、各組織の活動や行事の記事と写真を随時募集しています。

とりくみの全体像が見える写真と、600文字程度の記事を埼労連まで送ってください。

埼労連新聞や、推進ニュースで

紹介させていただきます。詳しい内容は、機関誌担当(加藤)まで。

組合行事・青年行事・学習会など、組合に関わる運動ならジャンルは問いませんので気軽に寄稿してください。

※寄稿時期によって、紹介できない場合もありますのでご了承ください。

2023自治体訪問の準備を

今年も11月13日から、県内63市町村への『2023年自治体訪問行動』が始まります。

今年度の訪問行動では、3年が経過した会計年度任用職員制度の運用について、フルタイム・パートタイムへの各自自治体の対応の格差の課題とあわせて、正規職員との賃金格差を縮めていくことが重要課題となります。

一方で正規職員の時間外労働の

適正化も課題としてあります。年間1000時間をはるかに超える職員が、いまだにいくつもの自治体で存在していることは大きな問題です。時間外労働の上限規制を定めた「働き方改革」によって民間労働者に適用されている上限規制を原則として運用させるよう求め、公契約の適正化では、公

契約条例の制定を展望する視点で

公共工事と業務委託の落札率について、設計労務単価の引き上げに
対応できる仕組みづくりなどの意見交換を深め、自治体職員の意識を変えていく必要があります。

9月下旬に、4つの地区協会の学習会が取り组まれました。今後は、地域組織単位の学習会が行われ、懇談に向けた準備が始まります。

(※日程は変更になる可能性があります)

2023年秋の自治体訪問 日程

集合時間	9:30	12:40	15:10
開始時間	10:00	13:10	15:40
終了時間	11:15	14:25	16:55
10日(金)	① 蓮田市		
13日(月)	① 小鹿野町	皆野町	長瀬町
	② 川島町	吉見町	東松山市
	③ 寄居町	深谷市	熊谷市
	④ 新座市	志木市	
	⑤	行田市	
	⑥	上尾市	伊奈町
14日(火)	① 越谷市	吉川市	松伏町
	② 人間市	飯能市	日高市
	③	鴻巣市	北本市
	④ 杉戸町	宮代町	白岡市
	⑤	横瀬町	秩父市
15日(水)	① ふじみ野市	富士見市	三芳町
	② さいたま市		川口市
	③ 桶川市		
	④ ときがわ町	小川町	東秩父村
	⑤	本庄市	上里町
	⑥	和光市	朝霞市
16日(木)	① 川越市	鶴ヶ島市	坂戸市
	② 所沢市	狭山市	
	③		春日部市
	④	羽生市	
	⑤ 加須市	久喜市	幸手市
17日(金)	① 蕨市	戸田市	
	② 三郷市	草加市	八潮市
	③ 鳩山町	嵐山町	滑川町
	④	神川町	美里町
	⑤	越生町	毛呂山町

10月の上映案内(2本)

埼玉映文協では、10月に映画を2本上映します。

10月19日(木)

「時の行路」(実行委員会)

大手企業の派遣切りと闘った労働者の実話を基に日本社会のあり方を問う作品で、埼玉連・埼玉共も映画製作に協力しています。

通常は前売り1200円(当日券1400円)のところ、埼玉共専用の入場整理券の利用で900円でご覧いただけます。

10月26日(木)

「妖怪の孫」

安倍晋三元総理の真実に迫るドキュメンタリー映画です。

こちらは特別上映につき、当日清算券で1200円での視聴となる



ります。

いずれも、埼玉会館小ホールで、時間は、

①10時30分

②14時

③18時30分

の3回上映です

*鑑賞希望の組合員は所属組合もしくは埼玉共にお申出いただければ、組合員とこの家族に限り必要枚数をご用意します。

埼玉共第19回総会の開催案内

日時: 2023年10月14日(土)

15時~16時30分

場所: 埼玉会館6C会議室

(埼玉連幹事会終了後・オンライン併用)

内容: 共済動画ミニ学習

2022年度事業報告、会計報告、監査報告

2023年度事業方針案、予算方針案

2023年度役員選出

*埼玉連の代議員は20名(幹事会へ対応)

(傍聴希望者・オンライン希望者は事前にお知らせください)

担当: 山崎



フードバンク

第90・91・92便

埼玉連9月のフードバンク活動は、埼玉土建本部から飲料水2リットルボトル6本箱入りりが26箱(156本分、合計312キログラム)、アルファ米6・3キログラム、総計318・3キログラムが提供され、9月6日(水)に埼玉連からフードバンク埼玉に第90便として届けました。フードバンク埼玉事務局から「水が足りなくて困っていたので助かります」と報告がありました。



フードバンク90便



フードバンク91便

また、翌日9月7日(木)には埼玉土建本庄支部から、アルファ米・おにぎり、非常用缶入りパンが10箱・117キログラム、ペットボトル水2リットル10本入りで30箱・600キログラム、合計717キログラムが寄せられ、ただちにフードバンク埼玉に第91便として届けました。前日同様、「水はとても貴重です」と喜ばれています。9月11日(月)には土建国保組合からギフトセット、非常食セット、乾麺など145・75キログラムが提供され、当日、第92便としてフードバンク埼玉に届けました。9月初旬は土建関係だけで1181・05キログラムと大量の提供になりました。